

第10回

# 医療と暮らしを考える会 教養講座(会場&オンライン併用)

“こころ”を見る

参加費  
1000円  
※会員無料

2022年

1月8日 土 17:30-19:30

兵庫県民会館 1202号室+オンライン(ズーム)

神戸市中央区下山手通4丁目16-3

講演会

## 「こころに寄り添う」

講師： 柏木哲夫 氏

(淀川キリスト教病院名誉ホスピス長)



1984年に淀川キリスト教病院に西日本で初めてホスピスを開設された柏木先生。これまで2,500人を超える末期患者を看取ってきた経験を踏まえて、「『生命』だけでなく『いのち』をみていくことの大切さ」を語られます。『いのち』をみることは、その人の価値観や考え方を尊重することであり、その人の選択にいかに寄り添うべきなのか…この学びを通し、自分自身のいのちの在り方を考える機会になればと思います。

【申し込み】QRコード入力又は事務局へメールで申し込みをして下さい。

一般の方は入力後1週間以内に振込みをお願いします。

ゆうちょ銀行 記号：14330 番号：94471621

医療と暮らしを考える会 (イリュウトクラシヲカンガエルカイ)

郵便局以外から：店名四三八 (ヨンサンハチ) 店番号：438 (普通) 口座番号：9447162



参加申し込み

【緊急事態宣言】が兵庫県に発令された場合はオンライン開催します。

※当日、会場でも受け付けますが、全オンラインとする可能性もあり、事前申し込みをお願いします。

### 《次回教養講座予定》

3月12日(土)17:30～ レンタルスペースジェム 元町

(神戸市中央区元町通2丁目3-2 JR元町駅徒歩2分)

テーマ：『医療スタッフを知る 理学療法士 & 言語聴覚士』

お申込み  
お問い合わせ

医療と暮らしを考える会

TEL:080 - 1476 - 5715

✉ : iryou.to.kurashi@gmail.com



ホームページ



facebook



公式LINE



～家族の風景に彩りを添える～

家族の風景に彩りを添える

# 医療と暮らしを考える会



メインはあくまで “その人の人生”  
家族関係は大切な思い出となり、人生に彩を与えます。

限られた時間の中で医療や福祉では担えない部分を見極め、  
私達自身が当事者として成すべき事を考え実行する団体。  
目指すは、『こころ豊かに生きる』です。

<患者の気持ちは経験していない人には分からない>という声・・・確かにそうでしょう。人に伝えられないものや言葉に出来ない思いを抱えつつ、患者が一人大きな壁の前に立つ日もあります。一方で「家族の哀しみは患者には分からないのだ」という事も、“がん患者グループゆずりは”に関わる中で見えてきました。立場は違えども一人ひとりが哀しみを持ちながら生きている事実。胃がんになった時、医療スタッフだけで私の揺らぎを抑えるには限界があると感じて患者会に入りましたが、活動を重ねるにつれ、《寄り添い、人を支える》というのは一筋縄ではいかないものだと強く思うようになりました。

皆様方に注目して頂きたい二つの事があります。その一つは様々な処置が医療で可能であるが故に、医療を受ける市民一人ひとりが「私にとって医療とは何か？」を考えておく必要があるという事。「がんであろうがなかろうが、人は必ず死ぬ」という事は皆が知っています。しかしながら、がんになるとそれが想定以上に早くやってくる場合があります。淡い希望にすぎり、想定外の将来に目を逸らし続けた結果、本当に大切な事をやり残してしまつたと後悔する人がいます。自分の大切なものを見極める力が患者側に求められる時代となってきた現代。医療とは何なのかを考えながら進むハンドル操作が私達に必要です。

もう一つは「希望が見えなくなった時でも、“温かい気持ちを抱かせる力”は家族が持っている」という事。最近では核家族化が進み、親がガン治療を受けていても子供達は別々に暮らし、闘病する者が暮らす実家の緊張感・空気感は体感できません。その状況では親の現実を推測し、気持ちを察する事がとても難しいので、日々の仕事に忙しい子世代と親との間に見えない溝が流れる事があります。そんな時、「自分達(親子間)に流れる温かさに代わるものはどこにもないという思い」を互いに持ち続けて欲しいのです。

この2つを社会に伝えたくて32年間薬剤師として勤務していた北野病院(大阪市北区)を2019年に退職、医療との向き合い方を考える「医療と暮らしを考える会」を神戸で設立しました。医療では担えない部分を見極め、各自がなすべき事を考えた上、こころ豊かに生きるを目指します。社会のお役に立つことを祈りながら、活動して参ります。ご支援の程、よろしくお願ひいたします。

医療と暮らしを考える会 理事長 宮本直治

## ～医療と暮らしを考える会～

【理念】患者と家族が様々なシチュエーションに正面から向き合うための情報を取得し、互いに思いやりのある関係創りを目指し、より深く生きるを考える社会構築に寄与する。

【年会費】 年会費5000円

【入会金】 正会員1万円、賛助会員2000円



### 【主な活動】

入会申し込みフォーム

- ・ズーム座談会 医療や暮らしの問題を参加者で考えます  
毎月第四(水)20:30～22時  
どなたでも参加可 無料
- ・教養講座 医療処置や葬儀まで様々なことを学びます  
隔月開催 (会員無料、一般1000円)  
神戸元町会場&ズーム併用
- ・がん患者と並走する家族の心得セミナー(会員割引あり)

理事長:宮本直治 (みやもと なおじ)

1960年生まれ。学生時代に肺がんの母親を自宅で看取る。大阪の病院にて薬剤師として勤務するかたわら、野田風雪氏に師事して仏法を学ぶ。2007年胃がんステージⅢで手術。その後僧籍を取得し、緩和ケア病棟(ホスピス)のビハーラ僧研修生。「与えられた時間と環境の中で生き方を考え、豊かに生きる」を見つめ、それぞれの持ち前を社会に活かす活動に力を注ぐべく32年間勤務した病院を退職。2020年医療と暮らしを考える会を設立。

医療と暮らしを考える会理事長

がん患者グループゆずりはは代表

宿坊で語り合うガン患者の集い主宰

日本ホスピス・在宅ケア研究会理事

がん患者団体支援機構副理事長

ビハーラ僧(浄土真宗僧侶)、薬剤師